

## 平成29年度英語科海外ホームステイ研修報告 7月21日（金）～22日（土）

7月の青空が広がる晴天の中、いよいよ郡山高校英語科海外ホームステイ研修の初日を迎えました。これから異国の地に踏み出す期待と不安が入り混じった表情で、1年生の37名が元気に集合しました。出発式では、瀧本教頭先生より「沢山失敗して、沢山学んできて欲しい」と激励を頂き、生徒代表挨拶は「行ってまいります」の力強い一言で締めくくられ、大勢の保護者の方、先生方に見送られながら一路羽田空港へ向け出発しました。



高速道路も順調に進み、定刻よりも早くに羽田空港に到着。オーストラリアは世界で最も検疫検査の厳しい国だと言われているため、到着後すぐに持ち物の確認を行いました。事前に食品の持参については注意していましたが、ホストファミリーのお土産として食品の持ち込みをしている生徒もいました。「日本の食文化を紹介したい」という気持ちも承知の上で、今回は団体旅行のため破棄もしくはオーストラリア到着前までに食べきるように添乗員さんからお話がありました。



その後、順調にチェックイン、セキュリティーチェック、出国を終え、出国した後は全員で搭乗券と電光掲示板で便名と搭乗ゲートの確認を行いました。「今後一人で海外に行けるようになる」こともこの研修のポイントです。代表して、率先して手を挙げてくれた生徒に搭乗ゲートまで先導してもらいました。ゲートまでの到着も非常にスムーズであったため、搭乗までの約1時間フリータイムを取り、定刻の17:05にいよいよ経由地・シンガポール・チャンギ国際空港へ向けて飛行機は出発しました。



ここで、機内食サービスの一コマを紹介します。“Chicken or fish?”と聞かれるかと思いきや、キャビンアテンダント（CA）さんの“Japanese or international?”の問いに目を丸くする生徒たち。CAさんに促されるまま受け取る生徒もいれば、一方で相手に聞き返し自分の要望をしっかりと伝える生徒もいました。コミュニケーションをとる中で分からない事をそのままにせず、尋ねることはとても大切です。この研修の中で、恐れなくて理解するまで何度も聞くということにチャレンジして行って欲しいと思います。

約6時間のフライトを経て、シンガポール・チャンギ国際空港に到着しました。経由便に約20分の遅れがあったものの、その間に全員で入国カードの記入を行いました。深夜1:05に離陸し、定刻通り10:35にブリスベン空港に無事到着しました。長旅の疲れがあるはずの生徒たちですが、無事に到着した安堵感とこれから始まるオーストラリアでの生活への期待に多くの笑顔が見えました。その後の入国審査では検疫の際に探知犬によるチェックがあり、不安が隠せない生徒たちでしたが、時間がかかったものの厳しい尋問にあうこともなく、無事に全員オーストラリアへ入国することができました。



到着ロビーでは、これから2週間英語の授業やアクティビティを担当して頂く、Joshua 先生が優しい笑顔で生徒を出迎えてくれ、専用バスで市内見学へと向かいました。一步外に出ると、空気はひんやりとしていましたが、どこまでも広がる青い空と強い日差しが降り注ぎ、ここがオーストラリアであることを実感させてくれました。



ランチに濃厚でボリュームのあるピザを堪能した後は、ブリスベン市街地の中心部を流れるブリスベン川の西側に広がるサウス・バンク内にある博物館を訪れました。2006年に設立されたこの州立博物館には、アボリジニの歴史的美術品や実物大のサトウクジラの模型など様々なジャンルの展示品あり、無料で見学することができます。入国の関係で時間があまりなかったため、駆け足での見学となってしまいましたが、中でも生徒たちの興味を引いていたのは、州内の多様な野生生物を紹介しているパートでした。

博物館見学後は、大急ぎでブリスベン市内を一望できる展望台があるマウントクーサに写真スポットに立ち寄り、その後ホストファミリーが待つ Livingstone Christian College に移動しました。



Livingstone Christian College に到着後、コーディネーターの Cassandra 先生によるホームステイオリエンテーションが行われました。突然質問され、思わず日本語で答えてしまったり、「大きな声で話すように」と言われて自己紹介の練習を何度もしたりと、初めは彼女の勢いに圧倒されていた生徒たちですが、次第に先生の大きなリアクションと笑顔が、緊張で強張った生徒の表情を笑顔に変えてくれました。添乗員さんからも笑顔で接すること、わからないことは聞くこと、一人で悩まず相談することなどを改めてお話がありました。



そして、いよいよ、待ちに待ったホストファミリーとの対面の時がやってきました。先ほどの Cassandra 先生の特訓の成果か、はにかみながらも、相手の目を見ながらしっかりと握手を交わす生徒達の姿がありました。今回縁があり出会う事の出来たファミリーですので、「一期一会」を大切にして、様々な事を共に経験をし、一人一人素敵な関係を築いていってほしいと思います。

明日は午前中、全ファミリーが集まってバーベキューをする予定ですので、まずは明日元気な笑顔を見せてくれることを期待しています。